

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	べ と 病	灰 色 か び 病	褐 斑 病	黒 と う 病	苦 腐 病	晩 腐 病	さ び 病	芽 枯 病	白 紋 羽 割 病	つ る ど ん こ 病	白 腐 病	枝 膨 病	す す 点 病	ゆ 合 促 進
I Cボルドー66DFL	M1		-	-	◎			◎		◎	◎							
Zボルドー水	M1		-	-	◎		◎				◎							
クプロシールドFL	M1		-	-	◎													
コサイド3000DF	M1		-	-	◎						◎							
エコショット顆水	BM2		1	-	◎									◎				
ボトキラー水	BM2		*i	-	◎													
ミギワ20FL	52		1	3	◎	◎	◎		◎									
トップジンM水	1		45	1	◎	◎	◎	◎	◎		◎			◎				
トップジンMペースト	1		*L *b	3					◎				◎					◎
ベンレート水	1		45 *d	3 1	◎	◎	◎		◎	◎		◎		◎		◎		
プロパティFL	50		3	3										◎				
アフエットFL	7		7	3	◎	◎	◎		◎	◎				◎				
カナメFL	7	劇	1	3	◎	◎	◎			◎				◎				
カンタスDF	7		7	3	大												大	
ケンジャFL	7		7	3	◎	◎	◎							◎				
バシタック水75	7		45	1						◎								
パレード15FL	7		7	2	◎	◎	◎			◎				◎				
フルーツセイバーFL	7		7	3	◎	◎	◎		◎	◎				◎				
アミスター10FL	11		30	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎						◎		
スクレアFL	11		1	3	◎		◎		◎					◎				
ストロビーDF	11		14	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎		◎		
ファンタジスタ顆水	11		14	3	◎		◎		◎	◎								
フrintFL25	11		*d	1			◎		◎									
オラクル顆水	21		14	3	◎													
ライメイFL	21		14	3	◎													
ランマンFL	21		14	3	◎													
フロンサイドSC	29		*a 21	1 1	◎	◎		◎		◎				◎			◎	
フルピカFL	9		30	2	◎									◎				
セイビアーFL20	12		21	3	◎				◎						◎			
ロブラール水	2		*h	3	◎		◎								◎			

ブ
ド
ウ

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	べと病	灰色かび病	褐斑病	黒とう病	苦腐病	晩腐病	さび病	芽枯病	白紋羽病	つる割病	うどんこ病	白腐病	枝膨病	すす点病	ゆめ促進
フジワン粒	6		*e	1									◎						
インダーFL	3		30	3	◎	◎	◎								◎				
オーシャイン水	3		7 30	2	◎		◎					◎			◎				
オーシャインFL	3		7	2	◎	◎	◎								◎				
オンリーワンFL	3		1	3	◎	◎	◎		◎	◎					◎	◎		◎	
トリフミン水	3		7	3				◎							◎				
マネージDF	3		21	3				◎		◎					◎				
パスワード顆水	17		14	2	◎											◎			
ピクシオDF	17		1	3	◎														
ポリオキシシNAL水	19		60	5	◎														
ポリオキシシNAL溶	19		60	5	◎		◎								◎				
フェスティバル水	40		45 30	2 2	小	大													
レーバスFL	40		7	3	◎														
アリエッティ水	P7		30	3	◎														
キノンドーFL	M1		45	*o	◎			◎										◎	
ドキリンFL	M1		45	*o	◎			◎										◎	
ヨネポン乳	M1		*n	1				◎	◎										
ジマンダイセン水	M3		45	2	◎		◎	◎	◎	◎									
チオノックFL	M3		60	2	◎	◎	◎	◎	◎										
トレノックスFL	M3		60	2	◎	◎	◎	◎	◎										
ペンコゼブ水	M3		45	2	◎		◎	◎	◎	◎									
オーソサイド水80	M4		30	3	◎	◎	◎	◎	◎									◎	
パスポート顆水	M5		*d	1				◎	◎										
ベフラン液25	M7	劇	*d 60	1 2			◎	◎	◎				◎					◎	
デランFL	M9	劇	*c *d	2 1	◎			◎	◎									◎	
スイッチ顆水	9・12		30	2		◎			◎										
オルフィンプラスFL	7・3		14	3		◎			◎						◎				
テーク水	3・M3		45	2	◎	◎		◎	◎						◎				
ナリアWDG	7・11		7	3						大									
ジャストフィットFL	43・40		30	3	◎														

ブ
ド
ウ

ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	べと病	灰色かび病	褐斑病	黒とう病	苦腐病	晩腐病	さび病	芽枯病	白紋羽病	つる割病	うどんこ病	白腐病	枝膨病	すす点病	ゆめ進
フォリオゴールドFL	4・M5		60	2	◎														
ゲッター水	1・10		45	1	◎														
ラビライト水	1・M3	*c	1	1					◎										
リドミルゴールドMZ顆水	4・M3		45	2	◎														
ホームイコート水	1・M3	*d	1	1				◎	◎			◎				◎			
ホライズンDF	11・27		21	3	◎		◎	◎	◎										
ポリベリン水	19・M7		60	2		◎	◎	◎	◎					◎					
フェスティバルC水	40・M1		45	2	小														
				30	大														
カーゼートPZ水	27・M3		45	2	◎			◎	◎										
カンパネラ水 ベネセット水	40・M3		45	2	◎			◎	◎										
ゾーバックエニベル顆水	49・M3		45	2	◎				◎										
フェスティバルM水	40・M3		45	2	◎														
ビオネクトFL	M1・-		*k	*o				◎	◎			◎				◎			
			45		◎														
アリエッティC水	P7・M4		30	3	◎	◎		◎	◎										
ザンプロDMFL	45・40		45	2	小														
				30	大														
ダイナモ顆水	21・27		21	3	◎														
ダイパワー水	M4・M7		60	2	◎			◎	◎										
ドーシャスFL	21・M5		60	3	◎			◎	◎										
ベトファイター顆水	40・27		30	3	◎														

*a:開花直前～落弁期(但し収穫60日前まで) *b:休眠期(萌芽前)
 *c:落弁期まで(但し収穫75日前まで) *d:休眠期 *e:萌芽期まで
 *h:開花期～幼果期(但し収穫60日前まで) *i:発病前～発病初期
 *k:休眠期～開花前
 *l:剪定整枝時、病患部削り取り直後及び病枝切除後
 *n:萌芽前 *o: 4回以内(但し開花後は1回以内)
 小:小粒種(デラウェア、シラガブドウ、やまぶどう)
 大:大粒種(巨峰系4倍体品種、2倍体米国系品種、2倍体欧州系品種、3倍体品種他)

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ブ ド ウ 種 別	ア ザ ミ ウ マ 類	ア ブ ラ ム シ 類	フ タ テ ン ヒ メ ヨ コ バ イ	ミ ド リ ヒ メ ヨ コ バ イ	カ イ ガ ラ ム シ 類	カ メ ム シ リ ガ 類	コ ウ モ リ バ 類	ス カ シ バ 類	ブ ド ウ ト リ バ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ バ 類	ハ マ キ ム シ 類	ケ ム シ 類	キン ケ ク チ ブ ト ゾ ウ ム シ	コ ガ ネ ム シ 類	カ ミ キ リ ム シ 類	ハ ダ ニ 類	サ ビ ダ ニ 類	そ の 他 害 虫
コロマイト水	6		7	2																		◎	
クムラス顆水	UN		*c	1																		ハ	
サンクリスタル乳	—		1	—																		◎	
オリオン水40	1A	劇	45	1					◎							も	◎						
サッチューコートS乳	1B		*b	2																		ラ	
スミチオン水40	1B		21 90	2 2	大 小			◎ ◎	ク ク			ス ス								成 成	ブ ブ		ア ア
スミチオン乳	1B		21 90	2 2	大 小			◎ ◎	◎ ◎	ク ク		ス ス	◎ ◎	◎ ◎		◎ ◎			成 成	ブ ブ			
ダイアジノン水34	1B	劇	30	2	大			◎	◎	ク													
マラソン乳	1B		7	6				◎	◎							◎						◎	
アーデントFL	3A		1	4		◎		◎												◎		◎	
アグロスリン水	3A	劇	21	5		チ		◎													◎		
アディオンFL	3A		7	5	大	チ		◎													◎		
アディオン水	3A		7	5		チ		◎										メ			◎		
スカウトFL	3A	劇	7	3		チ		◎							◎						成		
テルスターFL	3A	劇	14	1		チ																	
テルスター水	3A		14	1		チ																	
バイスロイドEW	3A	劇	7	2	大	チ														◎			
ロディー水	3A	劇	21	2		チ																	
ロビンフッドエアゾル	3A		1	5								◎	◎									◎	
アクタラ顆溶	4A		7	2		チ		◎		コ													
アドマイヤー顆水	4A	劇	*h	2		◎		◎		コ													
アルバリン顆溶	4A		1	3		チ		◎		コ	◎											ブ	
スタークル顆溶	4A		*e	1						コ		ビ											
ダントツ溶	4A		1	3		チ		◎		コ	◎										◎	ブ	
バリアード顆水	4A	劇	21	2		チ				コ													
ベストガード溶	4A		30	3		◎		◎		コ													
モスピラン顆溶	4A	劇	14 *a	3		◎		◎		◎	ツ										成		ト
モスピラン粒	4A		14	3				ネ													ブ		
トランスフォームFL	4C		3	3						◎													
ディアナWDG	5		1	2		◎						ビ			◎	◎							
デリゲートWDG	5		1	2		◎						ビ			◎	◎							
コルト顆水*	9B		1	3		チ				◎	ツ												
ニツラン水	10A		7	1																		◎	
パロックFL	10B		7	1																		◎	
オマイト水	12C		14 21	1 1	大 小																	カ カ	
コテツFL	13	劇	60	2		ミ		◎							◎	◎					◎	ナ	さノ

ブ
ド
ウ

ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒害 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	ブドウ 用種	アザ ミウマ	アブラ ムシ	フタ テンヒ メヨコ バイ	ミドリ ヒメヨ コバイ	カイ ガラム シ	カ メシ リ	コ ウモ リ	ス カシ バリ	ブ ドウ トリ バウ	ハ スモ ンヨ ト	ハ マキ ムシ	ケ ムシ	キン クク チブ トゾ ウム シ	コ ガネ ムシ	カ ミキ リム シ	ハ ダニ	サ ビダ ニ	そ の 他 害 虫
バダンSG溶	14	劇	21	5	大			◎					◎										
カスケード乳	15		30	2											◎								
アブロードFL	16		30	2			幼	幼															
ロムダンFL	18		1	2													◎						
カネマイトFL	20B		14	1																	◎		
マイトコーネFL	20D		21	1																	◎	サ	
サンマイト水	21A	劇	90	1	子		◎														◎		
ダニトロンFL	21A		30	1																	◎	サ	
ピラニカ水	21A	劇	30	1	大																◎		
ダニグッターFL	23		*f	1																	◎		
モベントFL	23		7	3		◎				◎											◎	サ	
スターマイトFL	25A		14	1																	◎		
ダニサラバFL	25A		1	2																	◎		ヒ
ダニコングFL	25B		1	1																	◎		ヒ
エクシレルSE	28		1	3		◎							ビ		◎		◎						
サムコルFL10	28		1	3									ビ			◎	◎						モ
テッパン液	28		1	2	子					◎			ビ			◎	◎		◎				
フェニックスFL	28		14	2									◎		◎	◎	◎						ホ
ヨーバルFL	28		*g	1									◎										
ウララDF	29		7	2	子								ビ			◎			◎				モ
トラサイドA乳	1B・1B		*d	2	子						ツ												ツ
トラサイドA乳	1B・1B		*c	2																			ブ
アブロードエースFL	16・21A		30	1										◎									ハ

*: 幼果期以降に使用する場合、果粉の溶脱を生じるおそれがあるので注意する。
 *a: 収穫後秋期 *b: 収穫後(10月)～萌芽前 *c: 発芽前(休眠期) *d: 開花前まで
 *e: 幼果期まで(但し収穫30日前まで) *f: 果実肥大期(大豆大期)～収穫前日 *g: 開花期まで
 *h: 収穫21日前まで(但し露地栽培については発芽期から開花期を除く)

ア: アカガネサルハムシ カ: カンザワハダニ ク: クワコナカイガラムシ
 ぐ: クワコナカイガラムシ若齢幼虫 コ: コナカイガラムシ類 サ: ブドウサビダニ
 さ: ブドウサビダニ及びブドウハモグリダニ ス: ブドウスカシバ
 チ: チャノキイロアザミウマ ツ: ツマグロアオカスミカメ ト: トビイロトラガ
 ナ: ナミハダニ及びカンザワハダニ ネ: ブドウネアブラムシ
 ノ: ミノガ類、モンキクロノメイガ及びトビイロイラガ ハ: ブドウハモグリダニ
 ヒ: ブドウヒメハダニ ビ: クビアカスカシバ プ: ブドウトラカミキリ
 ホ: ミノガ類、ホソオビツチイロノメイガ及びモンキクロノメイガ
 ミ: ミカンキイロアザミウマ及びチャノキイロアザミウマ メ: アメリカシロヒトリ
 モ: モンキクロノメイガ も: チャノココクモンハマキ ラ: トラカミキリムシ

小: 小粒種(デラウェア、シラガブドウ、やまぶどう)
 大: 大粒種(巨峰系4倍体品種、2倍体米国系品種、2倍体欧州系品種、3倍体品種他)
 幼: 幼虫 成: 成虫

ブ
ト
ウ

ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	4月下旬～ 9月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・落葉は集め処分する。 ・次の薬剤のいずれかを散布する。 アリエッティC水和剤 400～800倍 ジマンダイセン水和剤 1000倍 ホライズンドライフフロアブル● 2500～5000倍 ランマンフロアブル● 1000～2000倍 リドミルゴールド MZ顆粒水和剤● 1000倍 	春と秋にでやすい。 ヨーロッパ系の品種は発病しやすい。 前年発生した園は開花前から予防散布する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
	灰色かび病	5月中旬(開花直前)～6月下旬(開花直後)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 発病花穂は除去する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤● 1000～1500倍 ストロビードライフロアブル 2000～3000倍 ポリベリン水和剤 750～1500倍 ロブラール水和剤● 1000～1500倍
褐斑病	休眠期	<ul style="list-style-type: none"> 1. 落葉は集め処分する。 2. 次の薬剤を散布する。 ベフラン液剤25 250倍 	5月頃雨が多いと多発する。デラウェア、キャンベル・アーリーなどの品種は弱い。
	5月上旬～中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・次の薬剤のいずれかを散布する。 トップジンM水和剤 1000～2000倍 アミスター10フロアブル 1000倍 	
黒とう病	休眠期(発芽前)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 枝、まきひげは除去する。 2. 発病新梢は除去する。 3. 次の薬剤のいずれかを散布する。 デランフロアブル 200倍 ベフラン液剤25 250倍 ベンレート水和剤● 200～500倍 	春先天候不順の年に発生多い。 一般にヨーロッパ系の品種が弱く、アメリカ系の品種は強い。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
	5月上旬～6月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル 1000倍 アリエッティC水和剤 400～800倍 ジマンダイセン水和剤 1000倍 オーシャイン水和剤● 2000～3000倍 マネージDF● 4000～6000倍 ロブラール水和剤● 1000倍 	新梢が30～40cmくらいになった頃から薬剤散布を開始する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。

ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
晩腐病	休眠期	<ol style="list-style-type: none"> 枝、まきひげは除去する。 発病新梢は除去する。 次の薬剤のいずれかを散布する。 ベフラン液剤25 250～500倍 パスポート顆粒水和剤 250～400倍 	6月下旬から収穫期にかけ雨が多い年に多発する。
	6月上旬～9月中旬	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル 1000倍 アリエッティC水和剤 400～600倍 ストロビードライフロアブル 2000～3000倍 トップジンM水和剤● 1000倍 ベンレート水和剤● 2000～3000倍 	幼果期以降の散布は果実の汚れに注意する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
さび病		<ol style="list-style-type: none"> 落葉は集め処分する。 発生園は冬期中に中耕する。 	梅雨あけから晴天が続くと発生しやすい。
	6月上旬～9月中旬	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 バシタック水和剤75 1000倍 ストロビードライフロアブル 3000倍 マネージDF● 4000～6000倍 	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
うどんこ病	新梢伸長期以降	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 トリフミン水和剤● 2000～3000倍 マネージDF● 4000～6000倍 ポリバリン水和剤 750～2000倍 	春と秋に発生しやすい。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
ブドウえそ果病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 媒介虫であるハモグリダニを防除する。 	発病葉は緑色濃淡が明瞭なモザイク症状を現す。
ブドウえそ果ウイルス (GINV)		<ul style="list-style-type: none"> 感染拡大を防止するため、感染が確定した樹は伐採し未感染の苗木に切り替える。 	主に巨峰系のブドウ品種で発病しやすい。

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アブラムシ類	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン乳剤 ^{#1} 1000～2000倍 ダイアジノン水和剤 ³⁴ ^{#2} 1000～1500倍	^{#1} 大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。 ^{#2} 大粒種のみ
ブドウネアブラムシ	生育期	1. 抵抗性台木による接木栽培を行う。 2. 次の薬剤を散布する。 モスピラン粒剤(散布) [#] 30g/m ² (6kg/10a以下)	[#] 樹冠下または主幹周辺に散布する。
フタテンヒメヨコバイ	5月下旬(開花前)・ 6月上旬(落弁後)	1. 不要な副梢を摘み取り、園の通風と採光をよくする。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン水和剤 1000～2000倍 サンマイル水和剤 1000倍 スミチオン水和剤 ⁴⁰ ^{#1} 800～1000倍 バダンSG水溶剤 ^{#2} 1500倍 ベストガード水溶剤 1000倍	^{#1} 大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。 ^{#2} 大粒種のみ
カイガラムシ類	3月中旬(発芽前)	・次の薬剤を散布する。 石灰硫黄合剤* 7～10倍	*落葉果樹での登録商品により登録が異なるので注意。
クワコナカイガラムシ	5月上旬(開花前)	・次の薬剤のいずれかを散布する。 トランスフォームフロアブル ^{#1} 1000～2000倍 スミチオン水和剤 ⁴⁰ ^{#2} 800～1200倍 ダイアジノン水和剤 ³⁴ ^{#3} 1000～1500倍	^{#1} カイガラムシ類での登録 ^{#2} 大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。 ^{#3} 大粒種のみ、若齢幼虫に適用。
チャノキイロアザミウマ	6月上旬～下旬	1. 発生源となるので不要な副梢は早めに剪定する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオフロアブル ^{#1} 1000～2000倍 アドマイヤー顆粒水和剤 ^{#2} * ^a 5000～10000倍 コテツフロアブル 2000～4000倍 モスピラン顆粒水溶剤 ^{#2} 2000～4000倍 ロディー水和剤 2000倍 モベントフロアブル ^{#2} 2000倍	チャヤイヌマキなどが寄主植物である。開花前および落弁後約1か月間の防除が重要。 ^{#1} 大粒種のみ ^{#2} アザミウマ類での登録 ^a 露地栽培については発芽期から開花期を除く

ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アメリカシロヒトリ	生育期	1. 若齢幼虫期には、巣網を作って集団でいるので枝ごと処分する。 2. 幼虫発生期に次の薬剤を散布する。 アディオン水和剤 2000倍	幼虫は5月下旬～6月下旬と8月中旬～9月中旬の年2回発生する。
コガネムシ類	7月上旬	1. 成虫の活動が鈍い早朝に棚を揺すって落下した成虫を捕殺する。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオンフロアブル#1 1500倍 エクシレルSE 5000倍 スミチオン水和剤40#2 800～1000倍 モスピラン顆粒水溶剤#3 2000～4000倍	#1大粒種のみ #2成虫での登録 大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。 #3成虫での登録
ブドウトラカミキリ	10月下旬～3月中旬(休眠期)	・次の薬剤を散布する。 トラサイドA乳剤 200～300倍	山林に接した園で発生が多い。 #大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。
	10月上旬(成虫発生終期)	1. 剪定枝を放置すると発生源となるので処分する。食入痕を見つけたら幼虫を刺殺する。 2. 次の薬剤を散布する。 スミチオン水和剤40# 800～1000倍	
ハダニ類	生育期	1. 発生源となるので下草管理を徹底する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アーデントフロアブル 2000倍 サンマイルト水和剤 1000～1500倍 ダニトロンフロアブル 1000～2000倍 バロックフロアブル 2000倍 マイルトコーネフロアブル 1000～1500倍 モベントフロアブル 2000倍	薬剤抵抗性がつきやすいので同一薬剤の連用をしない。

ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ブドウハモ グリダニ	3月中旬 (発芽前)	・次の薬剤を散布する。 石灰硫黄合剤* 7～10倍	*落葉果樹での登録 商品により登録が異なる ので注意。
	生育期	・次の薬剤を散布する。 コテツフロアブル 2000倍 アブロードエースフロアブル 1000倍	
その他の害虫		コウモリガ、果実吸蛾類	